

私に出来ること

高知県立高知南中学校

三年

一柳

汐里

先日、私は友達といじめについて話す機会がありました。話している最中、友達が、「いじめはいじめられる側にも問題がある。」と断言していて、私はいじめられる側に問題があるのだからかと思いました。何故友達がそう思ったのか理解できなかつた私は、友達にそう思った理由を聞いてみました。

すると、「昔いじめられていた子がいて、その子は、人に嫌味や悪口ばかり言っていたし、第一いじめられる側は何かされないといじめはせんと思う。」と友達が言いました。そこで私は、「いじめられる理由があつたらいいじめつていいが。」

と聞きました。この質問に対して友達は、「分からんけど、人による。」と答えました。

みなさんはどう思いますか？私は、たとえいじめられる理由があつたとしてもいじめは絶対にしてはいけないと思います。なぜならいじめは、いじめられた人に、とても大きな傷を作ってしまうし、その傷は、いじめられた後もずっとずっと続いていくと

思うからです。私がそう思ったのは、以前いじめにあった事があるからです。当時、私の周りではいじめが毎日のようにありました。いじめの期間はばらばらだったけど色々な人がいじめのターゲットになっていました。私は、自分がターゲットにされるのが怖くて見て見ぬふりをしていました。すると、ある日学校に行き教室に入ると、少しだけ違和感を感じました。そう、私がターゲットになったのです。私はその瞬間、今まで見て見ぬふりをしていた罰が当たったと思えました。そして、ターゲットになったその日から仲良かった人など関係なくクラス全員から無視され、クラスで話す人は誰もいなくなりました。無視以外に物を隠されたり、捨てられたり、筆箱や上履き入れにも落書きをされました。また、わざとにぶつかったり、急にけられたりもしました。

暴言などを言われることもそれが当たり前のように三カ月以上続きました。これを読んでいる人は、「親や先生に相談したら良いのではないか」と考える人もいると思います。でも当時の私は、これを親や先生に言ったら、馬鹿にされるかもしれないとも考えたし、言った所で意味がない、と変に意地を張っていました。今思うと言うのが怖かったというのも

あると思います。親や先生に言っていないのだから当然いじめはなくなることなく、酷い孤独感に苛ま
れながら毎日、自分の机か教室の隅で同じ本を何回
も何回も読んでいました。親が厳しくて学校を休む
ことも出来なかったため、本当に辛かったです。
私は、いじめの一番の怖さは、いじめられている
時ではなく、その後だと思っています。実際に私は、い
じめられていた時も辛かったけど、いじめを経験し
てからは、人を信用する事が難しかったり、自暴自
棄になったりしました。自分の意見を口に出す事は
おろか、人と違う意見を持つ事さえ出来なくなりま
した。
また、自分をいじめていた人達が自分達にした事
を深く考えていないため、なれなれしく話しかけて
きたり楽しそうにしていたりすると憎しみの気持ち
が沸いてくることもあり、そんな自分が嫌で嫌でた
まらなかつたりしました。それらの方が辛かった、
いや辛いです。これらのことからいじめがどれだけ
大きな傷や後遺症を残していくか少しだけでも分か
ってもらえたのではないかと思います。
私は、この経験を通して、いつも相手の気持ちを
考えるよう努力をしたり、困っている人を助けたり
、人の良い所を見つけて褒めたりなど沢山の事を積
極的に出来るようになりました。私は、いじめがき

っかけで殻にこもってしまふ事もあつたけど、優しく手をのばしてくる人達に支えられて、いじめという大きな壁を突き破り、新たな一步を踏み出すことができました。

だから、これからは、今まで以上に相手の気持ちを考えたり困っている人を助けたりしていきます。それ以上に同じいじめの経験をしていたり、今でもいじめられていたりする人達を勇気づけ、少しでもいいので支えになれるよう、少しずつでもいろいろな方法で相談にのっていき、一人でも多くの人の役に立っていきたいと思います。